

第4章 周辺都市との比較による松戸市小売業の概況

ここでは、松戸市小売業の環境、構造、成果の現況と動向について、周辺都市との比較をしつつ、周辺都市における松戸市の位置付け、松戸市小売業の特性をみます。

松戸市と比較する周辺都市は下図に示す2区7市で、これに松戸市を含めたものを周辺都市圏（以下、「圏域」と呼びます。）とします。

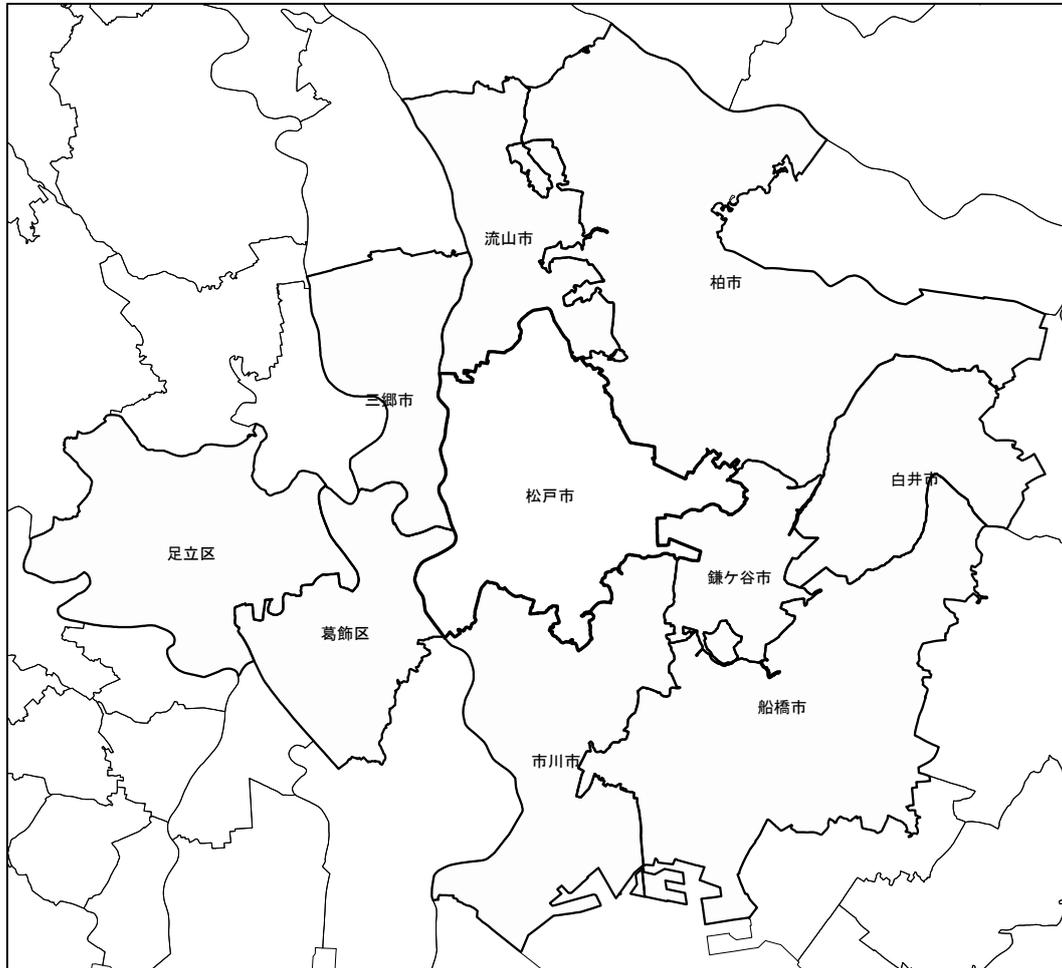


図 4-1 松戸市と周辺都市圏位置図

なお今回使用したデータは以下の通りです。

人口データ	千葉県毎月常住人口調査月報、東京都の人口（推計）、埼玉県推計人口（各年7月1日現在）
小売業データ	千葉県、東京都、埼玉県、全国のデータ：経済産業省大臣官房調査統計グループ 平成26年商業統計表 注意…東京都（足立区・葛飾区）の年間販売額は、百万円単位でのみ公表されているため、単位あたりの年間販売額など、万円単位表記にする場合においては、百万円単位の数値から編集し、本報告書で使用しています。（以降、同様とします。）

1. 各市の人口の概況

平成26年7月1日現在、松戸市の推計人口は481,194人、圏域の中で13.4%を占めており、足立区の19.2%、船橋市の17.2%に次ぐ圏域3位となっています。

平成19年から26年にかけての年平均増減率は、圏域合計で0.6%、最も高い流山市と白井市で1.4%となっており、松戸市は0.1%にとどまっており、周辺市よりも低い水準となっています。

表 4-1 圏域内の人口の現況と動向

	平成14年 (人)	平成16年 (人)	平成19年 (人)	平成26年 (人)	平成26年 構成比 (%)	増減数 (人) (H26-H19)	年平均 増減率(%) (H26/H19)
松戸市	470,111	474,099	476,270	481,194	13.4%	4,924	0.1%
柏市	377,417	380,508	387,724	407,560	11.4%	19,836	0.7%
白井市	50,978	52,991	55,947	61,508	1.7%	5,561	1.4%
鎌ヶ谷市	102,941	103,627	104,115	108,743	3.0%	4,628	0.6%
流山市	151,659	151,901	155,570	171,076	4.8%	15,506	1.4%
市川市	460,849	465,292	470,017	471,659	13.2%	1,642	0.0%
船橋市	558,675	567,661	582,823	618,253	17.2%	35,430	0.8%
三郷市	130,397	129,266	129,099	134,835	3.8%	5,736	0.6%
足立区	620,709	625,395	642,764	688,722	19.2%	45,958	1.0%
葛飾区	422,541	423,290	430,801	442,318	12.3%	11,517	0.4%
圏域合計	3,346,277	3,374,030	3,435,130	3,585,868	100.0%	150,738	0.6%

資料：千葉県総合企画部統計課「千葉県毎月常住人口調査月報」

埼玉県総務部統計課「埼玉県推計人口」

東京都総務局統計部人口統計課人口動態統計係「東京都の人口（推計）」

（各年7月1日現在）

2. 小売業の構造と現況の比較

(1) 小売業の現況と動向

①事業所数

平成 26 年における松戸市の事業所数は 1,776 事業所で、圏域の 12.1%を占めており、足立区の 3,245 事業所 (22.0%)、葛飾区の 2,318 事業所 (15.7%)、船橋市 2,224 事業所 (15.1%) に次ぐ、圏域 4 位となっています。また、圏域平均は 1,472 事業所で、松戸市はこれを上回っています。

平成 19 年と比較すると、圏域すべての市区で事業所数が減少しており、中でも松戸市は 808 事業所 (年平均-5.2%) の減少で、葛飾区の 1,185 事業所 (同-5.7%)、市川市 842 事業所 (同-5.6%)、足立区の 1,524 事業所 (同-5.4%) に次ぐ圏域 4 位の減少率となっています。

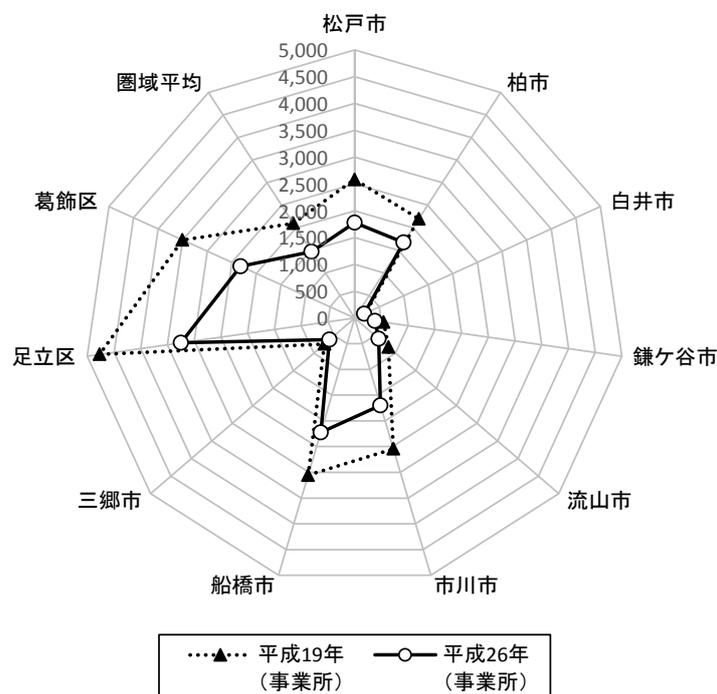


図 4-2 圏域内の事業所数の現況と動向

表 4-2 圏域内の事業所数の現況と動向

	平成19年 (事業所)	平成26年 (事業所)	平成26年 構成比(%)	増減数 (事業所) (H26-H19)	年平均 増減率(%) (H26/H19)
松戸市	2,584	1,776	12.1%	△ 808	△ 5.2%
柏市	2,198	1,674	11.4%	△ 524	△ 3.8%
白井市	220	197	1.3%	△ 23	△ 1.6%
鎌ヶ谷市	544	377	2.6%	△ 167	△ 5.1%
流山市	827	591	4.0%	△ 236	△ 4.7%
市川市	2,543	1,701	11.6%	△ 842	△ 5.6%
船橋市	3,055	2,224	15.1%	△ 831	△ 4.4%
三郷市	740	617	4.2%	△ 123	△ 2.6%
足立区	4,769	3,245	22.0%	△ 1,524	△ 5.4%
葛飾区	3,503	2,318	15.7%	△ 1,185	△ 5.7%
圏域平均	2,098	1,472	-	△ 626	△ 4.9%
圏域合計	20,983	14,720	100.0%	△ 6,263	△ 4.9%

②従業者数

平成26年における松戸市の従業者数は16,181人で、圏域の12.4%を占めており、足立区の24,096人(18.4%)、船橋市の23,354人(17.8%)、柏市の17,654人(13.5%)に次ぐ、圏域4位となっています。また、圏域平均は13,089人で、松戸市はこれを上回っています。

平成19年と比較すると、三郷市以外の9つの市区で減少しており、圏域平均では3,826人(年平均-3.6%)の減少となっています。松戸市は6,340人(同-4.6%)の減少で、最も高い減少率となっています。

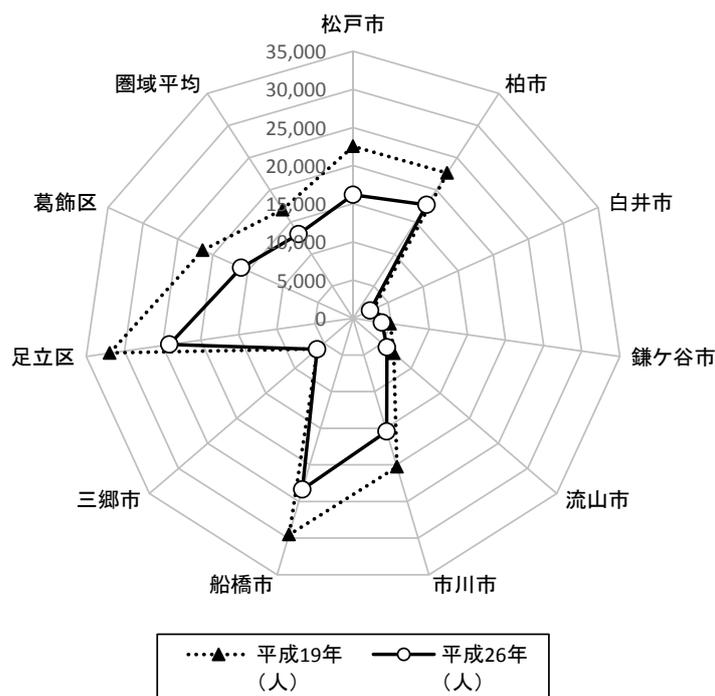


図 4-3 圏域内の従業者数の現況と動向

表 4-3 圏域内の従業者数の現況と動向

	平成19年 (人)	平成26年 (人)	平成26年 構成比(%)	増減数 (人) (H26-H19)	年平均 増減率(%) (H26/H19)
松戸市	22,521	16,181	12.4%	△ 6,340	△ 4.6%
柏市	22,616	17,654	13.5%	△ 4,962	△ 3.5%
白井市	2,869	2,430	1.9%	△ 439	△ 2.3%
鎌ヶ谷市	4,880	3,818	2.9%	△ 1,062	△ 3.4%
流山市	7,001	5,803	4.4%	△ 1,198	△ 2.6%
市川市	20,262	15,438	11.8%	△ 4,824	△ 3.8%
船橋市	29,517	23,354	17.8%	△ 6,163	△ 3.3%
三郷市	6,110	6,172	4.7%	62	0.1%
足立区	31,907	24,096	18.4%	△ 7,811	△ 3.9%
葛飾区	21,472	15,946	12.2%	△ 5,526	△ 4.2%
圏域平均	16,916	13,089	—	△ 3,826	△ 3.6%
圏域合計	169,155	130,892	100.0%	△ 38,263	△ 3.6%

③売場面積

平成26年における松戸市の売場面積は332,791㎡で、圏域の12.5%を占めており、船橋市の463,598㎡(17.5%)、柏市の456,761㎡(17.2%)、足立区の433,008㎡(16.3%)に次ぐ、圏域4位となっています。また、圏域平均は265,575㎡で、松戸市はこれを上回っています。

平成19年と比較すると、圏域全体の売場面積は減少していますが、白井市は10,896㎡(年平均2.5%)、三郷市は25,682㎡(同2.4%)と大きく増加しています。また、葛飾区が72,417㎡(同-3.7%)と最も減少しており、松戸市は23,641㎡(同-1.0%)の減少で、減少している圏域の市区の中でも減少率は低めとなっています。

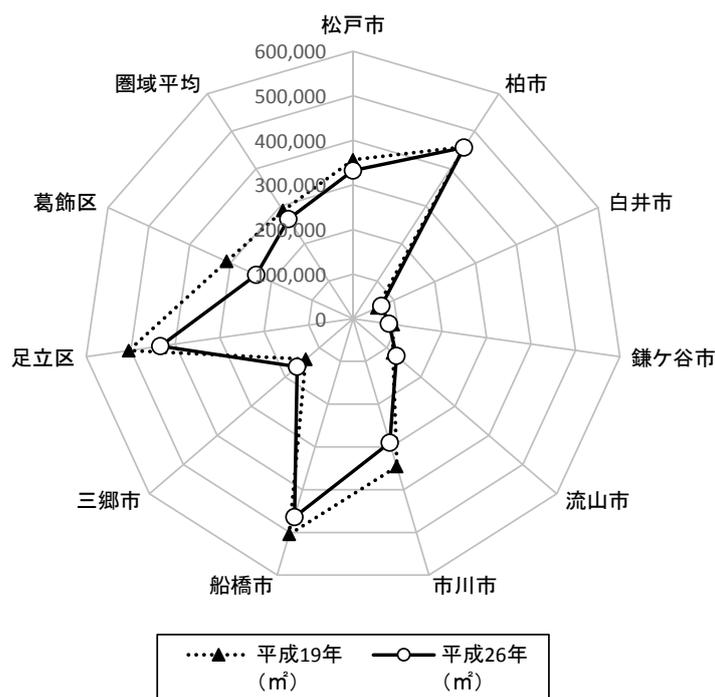


図 4-4 圏域内の売場面積の現況と動向

表 4-4 圏域内の売場面積の現況と動向

	平成19年 (㎡)	平成26年 (㎡)	平成26年 構成比(%)	増減数 (㎡) (H26-H19)	年平均 増減率(%) (H26/H19)
松戸市	356,432	332,791	12.5%	△ 23,641	△ 1.0%
柏市	458,719	456,761	17.2%	△ 1,958	△ 0.1%
白井市	58,869	69,765	2.6%	10,896	2.5%
鎌ヶ谷市	90,354	80,663	3.0%	△ 9,691	△ 1.6%
流山市	117,177	127,669	4.8%	10,492	1.2%
市川市	345,960	289,900	10.9%	△ 56,060	△ 2.5%
船橋市	504,490	463,598	17.5%	△ 40,892	△ 1.2%
三郷市	139,108	164,790	6.2%	25,682	2.4%
足立区	504,458	433,008	16.3%	△ 71,450	△ 2.2%
葛飾区	309,223	236,806	8.9%	△ 72,417	△ 3.7%
圏域平均	288,479	265,575	—	△ 22,904	△ 1.2%
圏域合計	2,884,790	2,655,751	100.0%	△ 229,039	△ 1.2%

④年間販売額

平成 26 年における松戸市の年間販売額は 310,209 百万円で、圏域の 11.8%を占めており、足立区の 504,967 百万円 (19.2%)、船橋市の 479,817 百万円 (18.3%)、柏市の 412,054 百万円 (15.7%) に次ぐ、圏域 4 位となっています。また、圏域平均は 262,897 百万円で、松戸市はこれを上回っています。

平成 19 年と比較すると、圏域全体の年間販売額は減少していますが、三郷市は 16,916 百万円 (年平均 2.0%) と最も高い増加率となっています。松戸市は 73,912 百万円 (同-3.0%) の減少で、葛飾区と並んで最も高い減少率となっています。

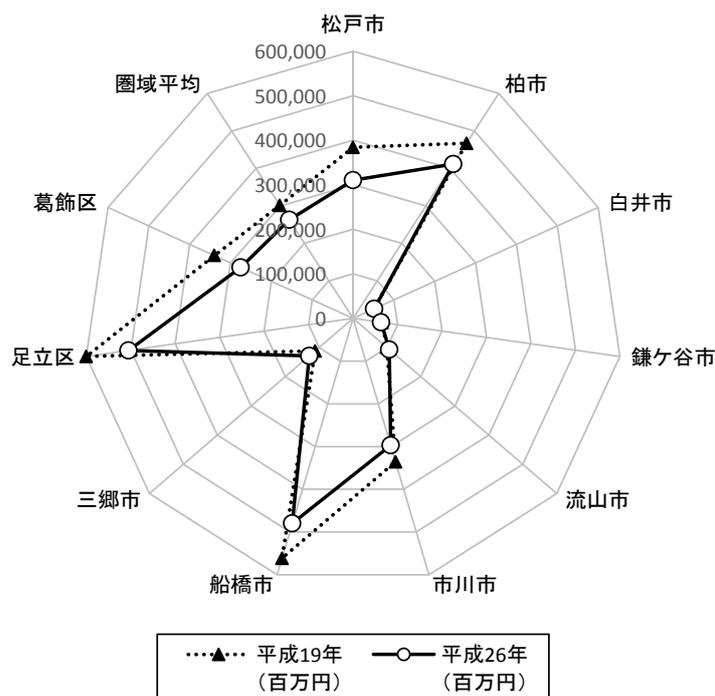


図 4-5 圏域内の年間販売額の現況と動向

表 4-5 圏域内の年間販売額の現況と動向

	平成19年 (百万円)	平成26年 (百万円)	平成26年 構成比(%)	増減数 (百万円) (H26-H19)	年平均 増減率(%) (H26/H19)
松戸市	384,121	310,209	11.8%	△ 73,912	△ 3.0%
柏市	467,138	412,054	15.7%	△ 55,084	△ 1.8%
白井市	51,203	51,439	2.0%	236	0.1%
鎌ヶ谷市	65,448	63,191	2.4%	△ 2,257	△ 0.5%
流山市	98,994	106,672	4.1%	7,678	1.1%
市川市	335,635	297,161	11.3%	△ 38,474	△ 1.7%
船橋市	561,402	479,817	18.3%	△ 81,585	△ 2.2%
三郷市	111,646	128,562	4.9%	16,916	2.0%
足立区	599,776	504,967	19.2%	△ 94,809	△ 2.4%
葛飾区	339,420	274,898	10.5%	△ 64,522	△ 3.0%
圏域平均	301,478	262,897	—	△ 38,581	△ 1.9%
圏域合計	3,014,783	2,628,970	100.0%	△ 385,813	△ 1.9%

(2) 単位あたりの年間販売額

① 事業所あたりの年間販売額

平成 26 年における、松戸市の 1 事業所あたりの年間販売額は 1 億 7,467 万円で、圏域 7 位となっています。また、圏域平均は 1 億 7,860 万円で、松戸市はこれを下回っています。

平成 19 年と比較すると、圏域のすべての市区で増加しています。松戸市は 2,601 万円（年平均 2.3%）増加で、圏域平均の 3,798 万円（同 3.2%）の増加率を下回っています。

表 4-6 圏域内の 1 事業所あたりの年間販売額

	平成19年 (万円/事業所)	平成26年 (万円/事業所)	増減数 (万円/事業所) (H26-H19)	年平均 増減率(%) (H26/H19)
松戸市	14,865	17,467	2,601	2.3%
柏市	21,253	24,615	3,362	2.1%
白井市	23,274	26,111	2,837	1.7%
鎌ヶ谷市	12,031	16,762	4,731	4.9%
流山市	11,970	18,049	6,079	6.0%
市川市	13,198	17,470	4,271	4.1%
船橋市	18,376	21,575	3,198	2.3%
三郷市	15,087	20,837	5,749	4.7%
足立区	12,577	15,561	2,985	3.1%
葛飾区	9,689	11,859	2,170	2.9%
圏域平均	14,368	17,860	3,798	3.2%

② 従業者 1 人あたりの年間販売額

平成 26 年における、松戸市の従業者 1 人あたりの年間販売額は 1,917 万円で、圏域 7 位となっています。また、圏域平均は 2,009 万円で、松戸市はこれを下回っています。

平成 19 年と比較すると、圏域のすべての市区で増加しています。松戸市は 212 万円（年平均 1.7%）増加していますが、圏域平均の 259 万円（同 1.7%）を下回っています。

表 4-7 圏域内の従業者 1 人あたりの年間販売額

	平成19年 (万円/人)	平成26年 (万円/人)	増減数 (万円/人) (H26-H19)	年平均 増減率(%) (H26/H19)
松戸市	1,706	1,917	212	1.7%
柏市	2,066	2,334	269	1.8%
白井市	1,785	2,117	332	2.5%
鎌ヶ谷市	1,341	1,655	314	3.1%
流山市	1,414	1,838	424	3.8%
市川市	1,656	1,925	268	2.2%
船橋市	1,902	2,055	153	1.1%
三郷市	1,827	2,083	256	1.9%
足立区	1,880	2,096	216	1.6%
葛飾区	1,581	1,724	143	1.2%
圏域平均	1,782	2,009	259	1.7%

③売場面積 1 m²あたりの年間販売額

平成 26 年における、松戸市の売場面積 1 m²あたりの年間販売額は 93.2 万円で、足立区の 116.6 万円、葛飾区の 116.1 万円、船橋市の 103.5 万円、市川市の 102.5 万円に次ぐ圏域 5 位となっています。圏域平均は 99.0 万円で、松戸市はこれを下回っています。

平成 19 年と比較すると、7 つの市区で減少しており、圏域平均は 3.5 万円（年平均 0.8%）減少しています。松戸市は 14.6 万円（同-2.1%）の減少となっており、白井市の 13.2 万円（同-2.3%）の減少に次ぐ減少率となっています。増加している市区は、鎌ヶ谷市の 5.9 万円（同 1.1%）、葛飾区の 6.3 万円（同 0.8%）、市川市の 5.5 万円（同 0.8%）で、増加率は 1.1%以下となっています。

表 4-8 圏域内の売場面積 1 m²あたりの年間販売額

	平成19年 (万円/m ²)	平成26年 (万円/m ²)	増減数 (万円/m ²) (H26-H19)	年平均 増減率(%) (H26/H19)
松戸市	107.8	93.2	△ 14.6	△ 2.1%
柏市	101.8	90.2	△ 11.6	△ 1.7%
白井市	87.0	73.7	△ 13.2	△ 2.3%
鎌ヶ谷市	72.4	78.3	5.9	1.1%
流山市	84.5	83.6	△ 0.9	△ 0.2%
市川市	97.0	102.5	5.5	0.8%
船橋市	111.3	103.5	△ 7.8	△ 1.0%
三郷市	80.3	78.0	△ 2.2	△ 0.4%
足立区	118.9	116.6	△ 2.3	△ 0.3%
葛飾区	109.8	116.1	6.3	0.8%
圏域平均	104.5	99.0	△ 3.5	△ 0.8%

(3) 事業所規模

①1 事業所あたりの従業者数

平成 26 年の松戸市の 1 事業所あたりの従業者数は 9.1 人で、圏域 7 位となっています。圏域平均は 8.9 人で、松戸市はこれを上回っています。

平成 19 年と比較すると、白井市以外の 9 つの市区で増加しています。松戸市は 0.4 人（年平均 0.6%）増加しており、圏域平均の 0.8 人（同 1.4%）を下回っています。

表 4-9 圏域内の 1 事業所あたりの従業者数の現況と動向

	平成19年 (人/事業所)	平成26年 (人/事業所)	増減数 (人/事業所) (H26-H19)	年平均 増減率(%) (H26/H19)
松戸市	8.7	9.1	0.4	0.6%
柏市	10.3	10.5	0.3	0.4%
白井市	13.0	12.3	△ 0.7	△ 0.8%
鎌ヶ谷市	9.0	10.1	1.2	1.7%
流山市	8.5	9.8	1.4	2.1%
市川市	8.0	9.1	1.1	1.9%
船橋市	9.7	10.5	0.8	1.2%
三郷市	8.3	10.0	1.7	2.8%
足立区	6.7	7.4	0.7	1.5%
葛飾区	6.1	6.9	0.7	1.7%
圏域平均	8.1	8.9	0.8	1.4%

②1 事業所あたりの売場面積

平成 26 年の松戸市の 1 事業所あたりの売場面積は 187.4 m²で、圏域 7 位となっています。圏域平均は 180.4 m²で、松戸市はこれを上回っています。

平成 19 年と比較すると、圏域の全ての市区で増加しています。松戸市は 49.4 m²（同 4.5%）の増加となっており、圏域平均の 52.1 m²（同 4.0%）の増加率を上回っています。

表 4-10 圏域内の 1 事業所あたりの売場面積の現況と動向

	平成19年 (m ² /事業所)	平成26年 (m ² /事業所)	増減数 (m ² /事業所) (H26-H19)	年平均 増減率(%) (H26/H19)
松戸市	137.9	187.4	49.4	4.5%
柏市	208.7	272.9	64.2	3.9%
白井市	267.6	354.1	86.6	4.1%
鎌ヶ谷市	166.1	214.0	47.9	3.7%
流山市	141.7	216.0	74.3	6.2%
市川市	136.0	170.4	34.4	3.3%
船橋市	165.1	208.5	43.3	3.4%
三郷市	188.0	267.1	79.1	5.1%
足立区	105.8	133.4	27.7	3.4%
葛飾区	88.3	102.2	13.9	2.1%
圏域平均	137.5	180.4	52.1	4.0%

3. 小売中心地性（顧客流入比率）の比較

小売吸引力を示す指標が顧客流入比率であり、それを指数化して表した指標が小売中心地性です。小売中心地性は以下の式によって算出され、100 以上は他都市から当該都市への顧客の流入、100 未満は当該都市から他都市への顧客の流出を示しています。

$$\text{小売中心地性（指数）} = \frac{\text{商業人口}}{\text{行政人口}} \times 100$$

$$\text{商業人口（人）} = \frac{\text{当該都市の小売年間販売額}}{\text{当該都市が属する県民 1 人あたりの小売年間販売額}}$$

（1）松戸市および周辺都市の小売中心地性(顧客流入比率)

松戸市における小売中心地性指数の動向をみると、平成 14 年の 94.0 から減少し続け、平成 26 年には 75.5 と継続して低下しており、周辺都市へ顧客が流出し、商業機能の吸引力が低下していることが伺えます。

一方、柏市がすべての年で最も高くなっており、三郷市は平成 16 年以降増加しています。三郷市が増加している要因は、商業施設の増加によるものと考えられます。

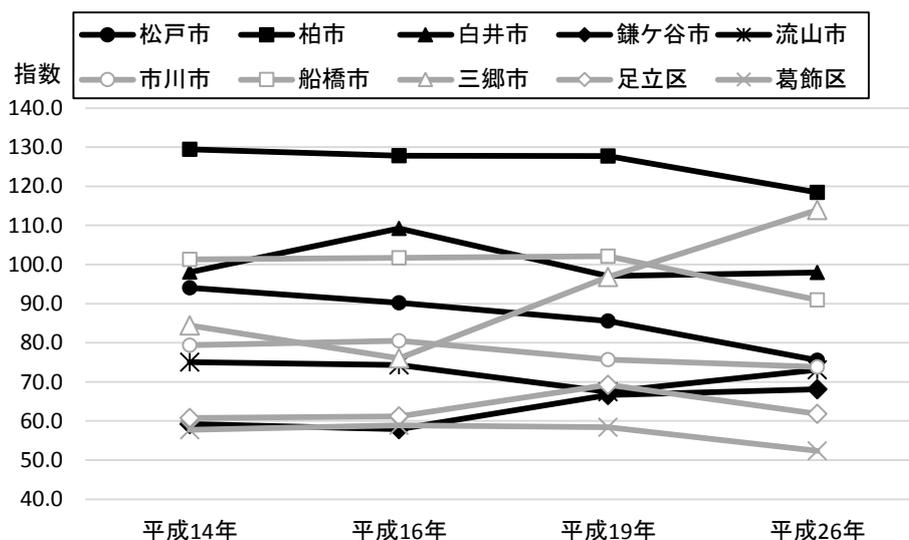


図 4-6 松戸市および周辺都市の小売中心地性の現況と動向

* 平成 26 年千葉県小売年間販売額 528,881,214 万円

* 平成 26 年千葉県行政人口(7 月 1 日現在) 6,195,734 人

* 平成 26 年千葉県県民 1 人あたり小売年間販売額 85.36 万円/人

平成 26 年の松戸市の小売中心地性は 75.5 で、圏域内で 5 番目に高い数値となっています。圏域内で顧客流入型の都市となっているのは柏市（118.4）、三郷市（114.0）の 2 都市で、これら周辺都市へ顧客が流出していることが伺えます。

平成 19 年と比較すると、松戸市、柏市、市川市、船橋市、足立区、葛飾区において、小売中心地性の低下がみられます。

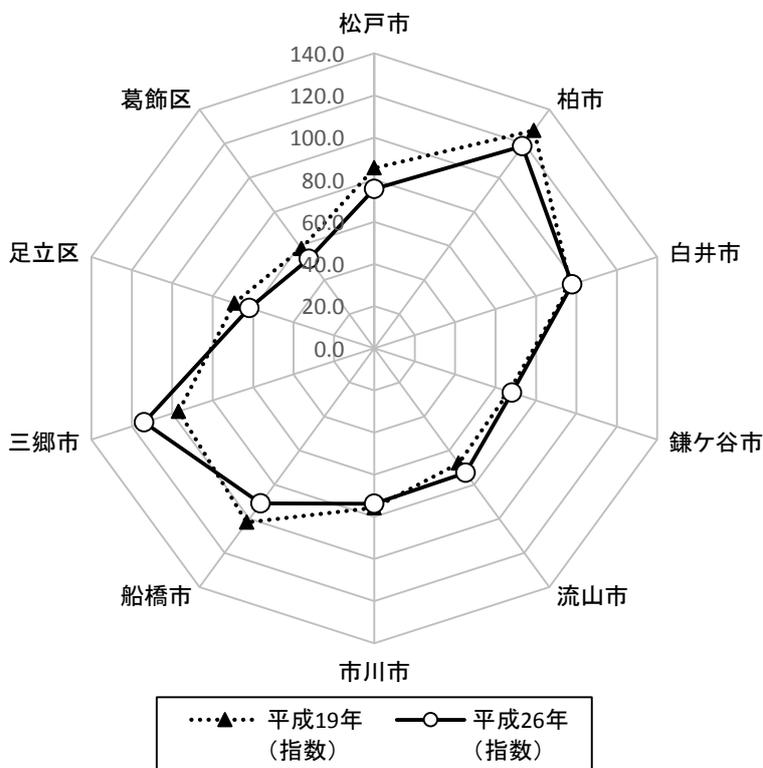


図 4-7 小売中心地性の現況と動向

表 4-1 1 小売中心地性の現況と動向

	平成19年 (指数)	平成26年 (指数)	増減数 (指数) (H26-H19)	年平均 増減率(%) (H26/H19)
松戸市	85.5	75.5	△ 10.0	△ 1.8%
柏市	127.8	118.4	△ 9.3	△ 1.1%
白井市	97.1	98.0	0.9	0.1%
鎌ヶ谷市	66.7	68.1	1.4	0.3%
流山市	67.5	73.0	5.6	1.1%
市川市	75.7	73.8	△ 1.9	△ 0.4%
船橋市	102.1	90.9	△ 11.2	△ 1.7%
三郷市	96.9	114.0	17.1	2.4%
足立区	69.2	61.8	△ 7.4	△ 1.6%
葛飾区	58.4	52.4	△ 6.1	△ 1.6%

(2) 圏域内における小売中心地性(顧客流入比率)

ここでは当該圏域内における各都市の小売吸引力をみます。すなわち、前出の『当該都市が属する県民1人あたりの小売販売額』を『圏域内1人あたりの小売年間販売額』に置き換えたものです。

平成26年において、圏域内で最も吸引力を有しているのは柏市(137.9)で、次に三郷市(130.1)、白井市(114.1)、船橋市(105.9)、足立区(100.0)の5市区で100を超えています。松戸市は87.9で、顧客流出型となっています。

平成19年と比較すると、圏域内で減少しているのは、松戸市、船橋市、足立区、葛飾区の4市区で、残る6市区では増加しています。特に三郷市では31.5ポイントと大きく増加しています。松戸市は4.0ポイント減少しています。

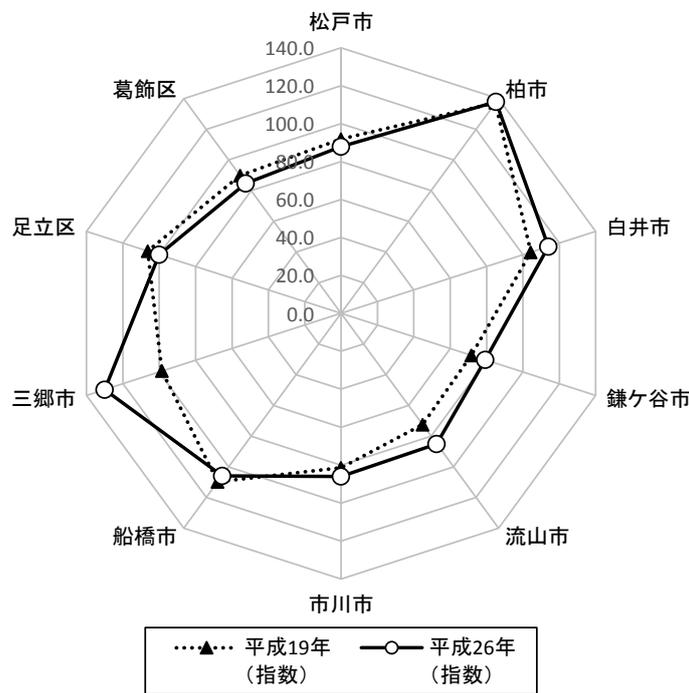


図 4-8 圏域内における小売中心地性の現況と動向
表 4-12 圏域内における小売中心地性の現況と動向

	平成19年 (指数)	平成26年 (指数)	増減数 (指数) (H26-H19)	年平均 増減率(%) (H26/H19)
松戸市	91.9	87.9	△ 4.0	△ 0.6%
柏市	137.3	137.9	0.6	0.1%
白井市	104.3	114.1	9.8	1.3%
鎌ヶ谷市	71.6	79.3	7.6	1.5%
流山市	72.5	85.0	12.5	2.3%
市川市	81.4	85.9	4.6	0.8%
船橋市	109.8	105.9	△ 3.9	△ 0.5%
三郷市	98.5	130.1	31.5	4.0%
足立区	106.3	100.0	△ 6.3	△ 0.9%
葛飾区	89.8	84.8	△ 5.0	△ 0.8%

(3) 本圏域内各都市における小売業のまとめ

圏域内における各都市の小売業の特性を、圏域の平均を100としたレーダーチャートによってみます。

○ おおむね平均的

松戸市、市川市では、全体的に94～104となっており、おおむね圏域平均に近い数値となっています。

○ 全体的に数値が高い

柏市、白井市、船橋市では、1事業所あたりの年間販売額、従業者1人あたりの年間販売額、1事業所あたりの従業者数、1事業所あたりの売場面積が圏域平均を上回っていますが、売場面積1㎡あたりの年間販売額については、柏市、白井市で圏域平均を下回っています。

○ 1事業所あたりの年間販売額、事業所規模の数値が低い

葛飾区、足立区では、1事業所あたりの年間販売額、事業所規模（1事業所あたりの従業者数、1事業所あたりの売場面積）が圏域平均を下回っており、売場面積1㎡あたりの年間販売額は高くなっています。

○ 単位あたりの年間販売額の数値が低い

鎌ヶ谷市では、事業所規模（1事業所あたりの従業者数、1事業所あたりの売場面積）が圏域全体を上回っていますが、単位あたりの年間販売額（1事業所あたりの年間販売額、売場面積1㎡あたりの年間販売額、従業者1人あたりの年間販売額）がそれぞれ圏域平均を下回っています。

○ 1事業所あたりの売場面積の数値が高い

三郷市では、1事業所あたりの売場面積は圏域平均を上回っていますが、売場面積1㎡あたりの年間販売額は圏域平均を下回っています。

表 4-13 圏域内における小売業の比較

	1事業者あたりの年間販売額		従業者1人あたりの年間販売額		売場面積1㎡あたりの年間販売額		1事業者あたりの従業者数		1事業者あたりの売場面積	
	(万円/事業者)	指数	(万円/人)	指数	(万円/㎡)	指数	(人/事業者)	指数	(㎡/事業者)	指数
松戸市	17,467	97.8	1,917	95.5	93.2	94.2	9.1	102.5	187.4	103.9
柏市	24,615	137.8	2,334	116.2	90.2	91.1	10.5	118.6	272.9	151.2
白井市	26,111	146.2	2,117	105.4	73.7	74.5	12.3	138.7	354.1	196.3
鎌ヶ谷市	16,762	93.9	1,655	82.4	78.3	79.1	10.1	113.9	214.0	118.6
流山市	18,049	101.1	1,838	91.5	83.6	84.4	9.8	110.4	216.0	119.7
市川市	17,470	97.8	1,925	95.8	102.5	103.5	9.1	102.1	170.4	94.5
船橋市	21,575	120.8	2,055	102.3	103.5	104.6	10.5	118.1	208.5	115.5
三郷市	20,837	116.7	2,083	103.7	78.0	78.8	10.0	112.5	267.1	148.0
足立区	15,561	87.1	2,096	104.3	116.6	117.8	7.4	83.5	133.4	74.0
葛飾区	11,859	66.4	1,724	85.8	116.1	117.3	6.9	77.4	102.2	56.6
圏域平均	17,860	100.0	2,009	100.0	99.0	100.0	8.9	100.0	180.4	100.0

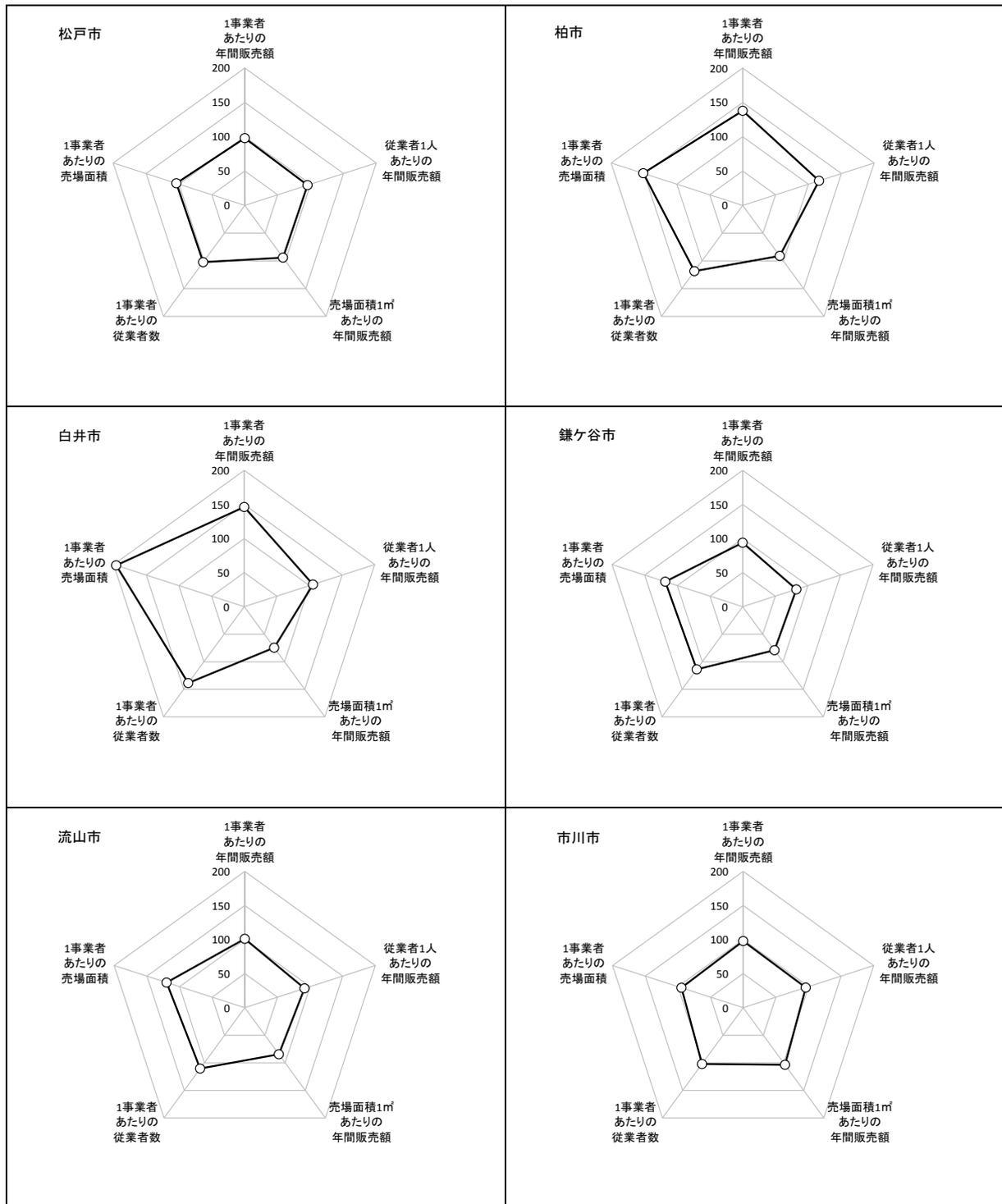


図 4-9 圏域内における小売業の比較その1

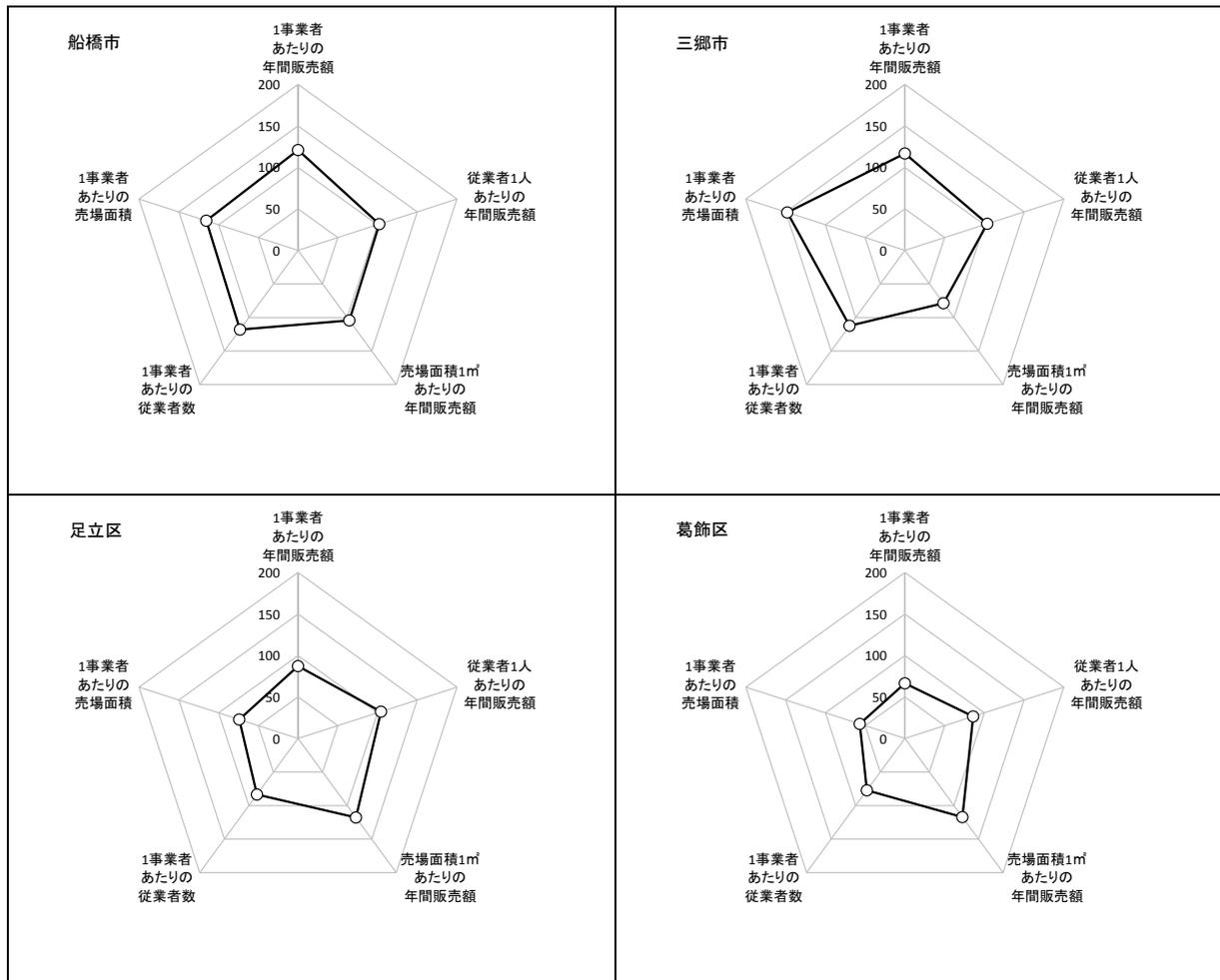


図 4-10 圏域内における小売業の比較その2